

広報ぬまた

NUMATA

2025
April

4

No. 689



沼田町の魅力を全国へ！ 沼田町 BEER KITCHEN オープン

目次 contents

■ 町政執行方針	2	■ ふるさと創造懇談会	21	■ 生涯学習ゆめっくる	29
■ 教育行政執行方針	6	■ 機構図	22	■ 図書館バックヤード	30
■ 令和7年度主要事業	8	■ 新規採用職員紹介等	24	■ 地域おこし協力隊活動新聞	31
■ 沼田町ピアキッチン	12	■ 沼田警察庁舎から	26	■ 4月生まれの沼田っ子	32
■ 石狩沼田ブルフリー	14	■ 沼田消防から（消報）	27		
■ まちのできごと	15	■ ふれあいインフォ	28		

令和7年度 町政執行方針概要



町長 横山 茂

3月6日に開会された第1回定例会で、横山町長が令和7年度の執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

私は、令和5年4月の町長選挙で町民皆様の温かいご支援により託していただいた2期目の町政運営も、早や3年目を迎える年となりました。

令和元年の町長就任以来、「夢と希望と誇りの持てるまちづくり」を目標に「オールぬまた」での取り組みを町政運営の基本に据えて、町民の皆様からの大きな期待を励みとして、町民の皆様の声と意見をできる限り真摯に行政運営に反映し、第6次沼田町総合計画の目標達成に向け、全力で取り組んでまいりました。

昨年、開拓の鍬が下ろされてから130年の記念すべき節目の年を迎え、多くの皆様にご支援ご協力をいただき、各種記念事業を盛会裏に開催させていただきました。

ことに心より感謝を申し上げます。

131年目となる本年を新たなスタートの年として、「笑顔あふれる小さな町の大きな挑戦」をスローガンに、これまで築かれた礎のもと100年後を見据えた「石狩沼田」ブランドを全国に示すべく、新たな魅力の創出に「挑戦・チャレンジ」する年として全力を傾注してまいりますので、引き続き、よろしく願い申し上げます。

○健康づくりの推進

「第2次沼田町健康増進計画」及び「第3期国民健康保険事業実施計画」に基づき、町民一人ひとりが自分の体の状態を知ること、主体的に健康づくりに取り組み、いきいきと自分らしく生活することができるよう、栄養や食生活、運動、心の健康づくり等の分野ごとの対策に取り組み、自らが健康寿命の延伸を目指し、生活習慣病予防及び重症化予防の徹底が図られるよう、継続して各種健康事業への参加や特定健診、各種がん検診の受診に対し、行政ポイントを付与することで受診勧奨に努め、町民皆

様の更なる健康意識の向上に努めてまいります。

○高齢者福祉・介護の充実

「高齢者元氣100倍！教室」などの介護予防事業に、高齢者が参加しやすい環境づくりに努め、第9期介護保険事業計画の重点施策である「認知症」における取り組みについては、引き続き「認知症カフェ」などを展開することで、地域社会からの孤立を防ぎ、認知症を正しく理解する取り組みの継続と、新たに保健福祉課に「認知症相談窓口」を設置することにより、相談しやすい環境を整備し、早期発見・早期診断・早期対応を行うことで、地域で支え合いながら社会生活を営むことができるまちづくりを推進してまいります。

仕事やボランティア活動をすることで、高齢者の生きがいや健康の維持を促す取り組みとして、「高齢者等活躍応援事業」や、社会福祉協議会が運営する「高齢者就労支援事業」「介護支援ボランティア事業」の内容を充実させ、技術や経験・知識などの強みを活かすこ

とで、高齢者が社会参加をしやすくする環境を社会福祉協議会と連携しながら進めてまいります。

○子育て支援の充実

保健福祉課内の「子育て世代包括支援センター」が、母子保健と児童福祉の連携を担ってまいりましたが、令和6年4月施行の改正児童福祉法により、子育て世帯及び妊産婦を対象に、保健・医療・福祉・教育などの多方面から一体的な支援を行う「こども家庭センター」に改編し、子育て世帯等に対する総合支援について関係機関と連携強化を図ってまいります。

沼田認定こども園につきましては、子育て環境の充実を図る一翼を担っていただいております。引き続き、個別に配慮を要する園児に対し、集団生活を送るうえで必要な保育環境を確保するため、加配保育士としての役割を担う人件費を補助することとして子育て環境の充実を図ってまいります。

子育て交流広場「えがお」につきましては、子育てに関する相談や子どもの遊び場、保護者同士の

交流の場として、また、ファミリーサポートセンターの拠点施設としての活用など直営による運営を行っているりましたが、未就学前児童の各種事業を集約化することで、効率的かつ効果的な子育て支援環境を構築できるものと判断し業務を委託することとして取り進めております。

○農業の振興

水稲を中心とした営農体制の安定維持には、畑作や高収益作物を含めた複合経営の推進が必要であり、農業所得向上対策事業などに継続して取り組んでまいります。

本町の基幹作物である水稲の生産コストの低減による所得確保及び作業時期の分散を目指す「稲作経営超低コスト化体質強化事業」につきましては、「水稲の初冬直播き栽培技術」の実証試験として、昨年秋季に町内農業者の協力を得て圃場への播種を行っており、今後、生育状況・収量などの調査を行い本町での技術導入の可能性について関係機関とともに検討を進めてまいります。

○加工用トマトの生産

農産加工場の運営につきましては、コーミ北のほたるファクトリー株式会社を指定管理者とする運営体制となり5年目を迎えます。

昨年は、高温などにより収穫量に影響が生じたところですが、原料トマトの収穫量確保に向け普及センターによる栽培技術指導をいただきながら、指定管理者及び生産者の皆様とともに沼田ブランドの向上に取り組んでまいります。

本町における農産物の6次産業化の先駆的取り組みであるトマト関連商品については、消費者から大変好評を得ておりますが、主力商品であるトマトジュースについては原料の不足により、翌年の製造までに欠品を生じる事態となっており、生産量拡大に向けて育苗支援及び農業者のご協力による機械収穫試験の実施また、今後の原料トマトの生産量増加を見据えた加工場の製造能力増強に向けた基本設計に要する所要額を予算計上いたしております。

令和7年度 町政執行方針概要

○商工業の振興

商工業者の経営の持続化や新たな担い手による新事業の展開、新たな商品の開発等の取り組みを支援する「事業継続・魅力向上ぬまた活性化支援事業」を継続するとともに、商店街の活性化と町内に所在する中小企業の振興、発展を図ることを目的とした「沼田町商工業活性化チャレンジ支援事業」等を実施することにより、町内商工業者の持続的経営を支援しつつ、地域の維持活性化を図るための各種施策を、商工会と連携しながら展開してまいります。

○企業誘致の推進

従来の「足で稼ぐ」企業誘致のほか、オンラインを活用し、地方進出検討企業のニーズを的確に把握するとともに、企業側が実際に沼田町へ訪れていただく「沼田町視察ツアー」を実施することにより、本町の企業立地優遇策や自然災害の少ない地域性、そして様々な地域資源や雪利用の取り組みなどを知っていただき、本町の魅力や有意性を全面にアピールしながら、きめ細やかな対策による取り組みを継続してまいります。

○観光の振興

我が町の一大イベントである「夜高あんどん祭り」につきましては、より多くの方々に楽しんでいただくため、昨年同様「ユーチューブ」によるライブ配信を実施するほか、年間を通じて行われる各種行事やイベント等の際に「VR画像」を活用したPR活動を行うことにより、より多くの「沼田ファン」の獲得を目指してまいります。
また、「沼田町」「株式会社まち

づくりぬまた」及び「北海学園大学」の「産・官・学」が連携し、地域資源を活用した「着地型観光旅行商品開発事業」を継続するとともに、中心市街地のにぎわいを創出するため、各団体と協力・連携を図りながら、「沼田ファン」として根付かせ、交流・関係人口の創出拡大を目指すとともに、地域経済の活性化を図ってまいります。

○ほろしん地区への誘客促進

年間を通じて本町の自然の恵みを活かしながら、自然体験プログラムを提供し、あらゆる世代の人々が集い交流する場を創出するため、「NPO法人そらち自然学校」において各種アクティビティの実施とともに、森林整備に関する協定を締結している「日本トーカーンパツケージ株式会社」や「幌新地区魅力創造マイスター」の協力をいただきながら、各種の事業に取り組んでいるところであります。

今後においても、自然学校に隣接する「ほたる館」や「ほたるキャンプ場」「化石体験館」との連携を図り、魅力あるエリアとしての情

報発信の充実と、来訪される方が気軽に相談・問い合わせができる窓口（ワンストップ窓口）を設置し、利用団体の受入調整や体験プログラムなどをきめ細やかに提案することとし、また、誘客のきっかけとなる各種イベント等を定期的に開催するための所要額を予算計上し誘客促進に努めてまいります。

○沼田町特産品の販売・促進等（クラフトビール）

「沼田町クラフトビール醸造所（石狩沼田ブルワリー）」につきましては、指定管理者や町内酒組合等とも連携しながら、クラフトビールのPR・販路拡大に力を注ぐとともに、本町への誘客を促進し駅周辺の活性化に繋がる取り組みを推進してまいります。

また、JR北広島駅に直結する複合施設「トナリ工北広島」に出店するブースは、クラフトビールを始めとする特産品を取り扱うこととし、「沼田町食の魅力発信拠点整備運営事業」として、年間を通じてブース運営等に要する所要額を予算計上いたしております。

○地域公共交通

1年後に迫りました代替交通の運行に関する詳細について、代替バス運行を担う交通事業候補者と関係機関の同席のもと調整している段階であり、町民の足を守り、利便性が確保できるように、町として最大限の努力をまいります。

また、石狩沼田駅の周辺活性化を目的とした各種事業については、町内有志が中心となって発足した「沼田町駅未来協議会」及び「地域おこし協力隊員（地域モビリティデザイナーほか）」が連携し実施しておりますが、本年度においては、JR廃線後における中長期的な未来を見据えた鉄道遺産の活用や「駅前周辺の活性化」と「魅力あるまちづくり」の実現に向けた検討チームを設置の上、本格的に開始することとしております。

○防災対策

防災行政無線は、運用開始から10年以上が経過し、操作卓の機器・部材の調達確保が困難になることから、令和9年3月をもって保守

業務を終息することと、「Jアラート」を所管する消防庁から北海道総合行政情報ネットワークの衛星回線との分離を求められていることから、2か年で整備することとしております。

また、近年多発する災害に対し、各行政区単位での自主防災組織の結成に向けた啓蒙に取り組みほか、洪水等大規模災害を想定した総合防災訓練を実施し、地域防災力の向上に努めてまいります。

○GXの推進

ゼロカーボンの取り組みの一つとして、家庭の生ごみを堆肥化することにより施設処理で発生する二酸化炭素の排出量の削減に加え、処理量により変動する自治体負担額の軽減を見込めることから、各家庭のコンポストの購入費について助成することとし、また、化石エネルギーからクリーンエネルギー中心とした、産業・社会構造への変換を推進・支援する「地方公共団体のGX」の取り組みを強化するため、国の「地域活性化起業者」制度を活用し、民間事業者

より専門的な知見を有する人材の招聘に要する所要額を予算計上しゼロカーボンの取り組みを加速してまいります。

○合同墓の供用開始

少子高齢化を背景に新たな供養の選択肢として整備いたしました、合同墓の供用開始にあたり、「沼田町合同墓の設置、管理及び使用等に関する条例」を上程いたしております。

○結びに

本町は開拓から130年を経過し、これまでも目まぐるしく変化する社会環境のなか、幾多の地域課題の克服に向け、町民皆様と地域への思いを共有し、地域の持つ力と創意工夫を持って積極的かつ果敢に取り組み、今日の沼田町があります。

人口減少や高齢化が避けられなくなつた今、地域活力を活性化・維持するためには、地域で活躍できる人材を育て、呼び込むかが重要であり、そのために地域の特性や様々な地域資源を磨き上げ、そ

の特性や資源を有機的に繋ぎ合せ、潜在する「沼田町の活力や魅力」を発信し育てることが「住みたい沼田町、また行きたい沼田町」として選ばれる町となり、その結果として人口減少の抑制や産業の創出につながるものと考えております。

私の所信であります「夢と希望と誇りの持てるまちづくり」、子供たちに帰ってきてもらえる故郷づくりに向けて、地域間での「競争」と「共創」を意識し、職員とともに培った「知識や経験」を「新たな知恵」に変え、「新たな視点」と「新たな創造」をもって「次代に何を残すか?」、今すべきこと、今だからできることを深慮し、「オールぬまた」でスピード感を持ったなかで、開拓131年目の本年を、新たな時代への「創造と挑戦」の第1歩を着実かつ大胆に踏み出す年として、全力で取り組む決意でありますので、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます、令和7年度の町政執行方針といたします。

令和7年度 教育行政執行方針概要



教育長 三浦 剛

3月6日に開会された第1回定例会で、三浦教育長が令和7年度の教育行政執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

沼田町教育委員会では、中長期的な展望に立つて教育施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和14年度までの10年間で計画期間として「第2期沼田町総合教育計画」を策定し、様々な施策に取り組んでいるところであり、沼田学園における一貫・連携教育を柱として「ふるさと沼田を愛し、自ら進んでたくましく郷土の発展に寄与する子」をめざす子ども像としながら全ての町民が令和の日本社会に根差した、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福感を育むことを目指して、教育施策を展開してまいります。

○「沼田学園」における 一貫・連携教育の推進

開園8年目を迎える「沼田学園」については、継続して中学校の教職員が小学校に乗り入れ授業を行うなど、沼田学園9年間を見通した学習指導に生かすことで、児童生徒の学力向上や中学校生活への円滑な接続に向けて取り組みを進めるとともに、教職員の指導力向上に資するため、「教育講演会」を開催するなど、児童生徒が主体的に学ぶ指導方法や一人一人の学力を伸ばす授業スタイル（沼田スタイル）を全教職員で組織的に取り組んでまいります。

幼児教育については、「子ども子育て」と「保育・教育」という視点から、福祉や子育て関係機関との情報交換を通して繋がりを深めながら沼田認定こども園と沼田小学校との幼小接続に関して、望ましい交流や引き継ぎの在り方、組織体制づくりなどの促進を図ってまいります。

○学力向上対策と 特色ある学びの推進

全国学力・学習状況調査やN R T標準学力検査の検証を行いながら、「主体的・対話的で深い学びの実現」を基本に、学力三要素である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」をより伸ばすための授業力向上と授業改善に取り組んでまいります。また、あらゆる学びに繋がる「読解力」や「語彙力」の向上として、読書習慣の定着を一層推進するため、学校図書室の環境整備（システム化）を図るとともに、「生きた英語力」・「使える英会話力」によって、国際社会をたくましく生きる人材を育成するため、幼少期から英語教育に触れる機会を創出するなど、特色ある学びを推進してまいります。

○国際交流と青少年交流

国際交流については、カナダ・ポートハーディ地区へ、中学生に加え高校生などを派遣する予定であります。子どもたちが国際社会で活躍できる人材へと繋げていくため、外国語指導の専門職員がネイティブ講師となってサポートし「使える英会話力」を少しでも身に

つけていただきながら、更に充実した国際姉妹都市交流となるよう取り組んでまいります。

また、第33回目となる小矢部市・沼田町青少年交流事業については、小矢部市津沢中学校へ訪問することになっており、歴史・伝統文化の理解と交流によって両市町が更に強い絆で結ばれるものと期待しております。

さらに、台湾花蓮県瑞穗郷との国際交流について、両町の自然を生かした資源や伝統芸能・文化による交流によって相互訪問を期待しており、本年度は本町から第1回目の公式訪問団を組織して同郷を訪問するための予算を計上いたしております。

○「コミュニティスクール」 「沼田学園学校運営協議会」

地域住民が学校運営に参画いただけるよう「学校運営協議会」と協働し、地域コミュニティによって開かれた学校づくりに取り組んでまいります。

なお、本年度も継続して「小・中学校グラウンドの美化一斉運動」や「1日防災学校」、「ポスター・標語コンクール」を実施する予定ですが、多くの住民が参画しやすいよう、社会教育事業と連携して

合同で実施するなど、創意工夫を図ってまいります。

○部活動の地域移行と 働き方改革

部活動地域移行推進協議会において、「北空知広域モデル」の構築に向け、今後、指導者の確保や移動（送迎）支援、財源確保などに向けて首長部局や関係機関との協議を進めてまいります。

なお、部活動の地域移行によって教職員の時間外在校時間や業務量の見直しなど、働き方改革についても引き続き推進しながら、効果的な教育活動に繋げるよう職場環境の改善に努めてまいります。

○青少年教育と 豊かな人間性の育成

子どもたちの自己肯定感や協調性、非認知能力といった「生きる力」を育むため、「自然体験キャンプ」や「長靴レンジャー（環境学習プログラム）」に継続して取り組んでまいります。

また、集団生活を通して、協力することの大切さや人を思いやる心を育む機会として、「沼田っ子の夢応援事業」を実施し、地域実践者による「ふるさと学」をプログ

ラムに取り入れ、子どもたちが講話やワークショップを通じて本町の魅力を再発見し、郷土愛に繋がるよう期待するものであります。

○沼田町Two-way留学

昨年度、1家族を受入れ、沼田小学校において短期留学生2名が4週間にわたって学びと交流を深めたところですが、本年度においても積極的に募集PRを行い、沼田町への一時的な移住や二拠点居住を希望する家族の受入れを推進しながら、沼田学園における児童生徒の減少対策と交流活性化を図ってまいります。

いつまでも幸せに暮らせるまちづくり

■暮らしの安心センター指定管理【新規】28,791千円

直営で管理運営していた業務を社会福祉協議会に指定管理し、事業の継続と多様化する住民ニーズの対応を強化します。

にぎわいのあるまちづくり

■移住定住促進住宅改修事業（中間管理住宅）【新規】10,000千円

個人が所有する空き家を町が10年間の賃貸契約で借受け、町が水回りや内装などをキレイにリフォーム改修し、改修後の空き家を町内への移住を希望する子育て世帯等に賃貸することにより景観の向上・移住定住促進・地域の活性化を図ります。

※契約期間は最大2年間延長することができます

■沿線自治体連携JR留萌本線廃線イベント補助金【新規】1,000千円

令和8年3月31日でJR留萌本線が全線廃止となることに伴い、JR留萌本線沿線自治体（深川市、秩父別町、沼田町）が連携した中で、1年間を通じたイベントやグッズ販売を行い、廃線当日にお別れイベントを実施します。

■幌新地区魅力発信事業交付金【新規】300千円

そらち自然学校・ほたる館・化石体験館・キャンプ場が連携し、幌新地区を盛り上げるための事業やイベントを定期的開催するために必要な経費の交付を行います。

■中山間携帯電波不感地域通信対策事業【新規】66,547千円

町内の中山間地域の携帯電波不感地域2地区（真布・更新3地区）において、スマート農業の推進、また地域住民の防災面や安心・安全のまちづくりの観点から通信対策（インターネット環境の構築）を実施します。

■沼田町食の魅力発信拠点運営事業【新規】27,508千円

北海道で最も集客力のあるスポットの一つである「エスコンフィールド北海道」へ訪れる方の多くが利用する北広島駅前施設「トナリエ北広島」内で沼田町の産品や飲食を取り扱うアンテナショップを通年開設し、沼田町を全道・全国・世界へ発信し町のPRを行うとともに、税収及び事業収入の増を図ります。

■沼田町森林資源活用促進事業【新規】1,000千円

本町の森林資源を活用した木材加工品や特用林産物の商品開発及び製造に必要な取組に対する助成を行うことで、森林資源の循環利用の促進と森林の多面的機能の発揮を図ります。

《事業概要》

- 対象者：沼田町内に住所を有する方。沼田町内に事業所を有する法人及び団体。
- 補助率：事業費の2/3（上限1,000千円）

■ NUMATA TOMATO TOWN 構想推進事業【新規】4,665 千円

加工用トマト生産量日本一のまちを実現するため、栽培面積拡大、加工製品製造機能増強、販売量増加、加工用トマト製品消費拡大を図り、また、加工用トマトのPRに町全体で取り組み、基幹産業である農業を中心に産業と連携する新たな事業を推進します。

《事業内容》

- ・加工用トマト栽培・機械収穫試験事業（666 千円）
加工用トマトの生産拡大において課題となっている収穫作業期の労力軽減を図るため、機械収穫の導入へ向け町内農業者の協力により栽培・収穫試験、収量調査を行います。
- ・加工用トマト育苗支援事業（1,265 千円）
加工用トマトの生産拡大に向け、育苗委託経費の一部助成を行ない、春先の労力軽減を図ります。
- ・トマト村開設事業（1,053 千円）
未利用農地を活用した加工用トマト栽培により、地域住民と移住者との交流による地域コミュニティの活性化・加工用トマト生産量の増加などを旨すトマト村の実現に向けバック栽培試験を行います。
- ・加工用トマト作付奨励事業補助金（990 千円）
水稻の輪作作物として位置付けられている加工用トマトの生産により、農業所得の確保及びトマトジュース等特産品の安定的な製造を図るため栽培面積の維持・拡大を目指します。
- ・加工用トマト拡大推進事業補助金（616 千円）
PR イベントや試食会、収穫体験事業を実施し加工用トマトの認知度向上を図ります。
- ・鳥獣被害防止対策及び加工用トマト生産拡大事業（75 千円）
有害鳥獣問題に関心を持つ北海道内の大学生によるサークルと連携し、本町の鳥獣対策の実地研修を実施し、農業被害の実情と駆除の重要性への理解を深めて頂く。また、加工用トマト生産拡大に向け実習農場で収穫体験を実施し、今後の労働力不足解消に向けての検討を行うとともに、関係人口の創出・拡大に努めます。

■ 農産加工場機能増強事業【新規】 16,214 千円

加工用トマト生産量日本一のまちを目指し栽培の拡大に取り組むにあたり、農産加工場の処理・製造の能力向上を図る必要があることから、原料受入れから製品出荷までの一連工程について企画・設計を実施し、農業所得の向上・トマトジュース等の本町特産品の競争力強化を図ります。

《沼田町農産加工場基本設計業務》
・農産加工場処理能力増強（ライン整備等）

■ 教育旅行受入協議会補助金【新規】 300 千円

北海道内を中心に小学校、中学校、高校、スポーツチーム等における課外学習及び宿泊を伴う研修プラン調整のサポートを行い、沼田町における教育旅行受入の質の向上を目指します。

《事業概要》

- ・課外学習及び宿泊研修における各教育機関、受入先との調整
- ・教育旅行にて実施するプログラムの調整
- ・Web サイト・SNS の活用

■ ガバメントクラウド移行経費 【新規】300,242 千円

自治体運営の効率化を目的に、迅速・柔軟・安全、安心でコスト効率の高いシステムへ移行します。

■ デジタル専門人材派遣業務委託料 【新規】5,600 千円

行政の業務効率化及び町民サービスの利便性向上を図る「自治体DX」を推進するため、民間事業者からデジタル技術等の専門知識を有する人材の招聘をします。

■ 電子契約システム使用経費【新規】 112 千円

業務の効率化やペーパーレス推進のため、既存の紙での契約の仕方を見直し電子契約に移行します。

■ コンテナ型データセンター誘致に向けた各種検討・協議【新規】

雪エネルギーを活用したコンテナ型データセンターの進出を検討している企業との協議を重ね、沼田町への進出を後押しするための支援策等について各種検討・協議を行います。

■ 企業・学校・沼田町の3者連携事業【新規】

今後3者で専門的人材の育成や地域産業の振興等を目的とした連携協定を締結する予定となっており、各種連携事業が円滑に取り組めるように調整を行うとともに、今後のビジョンについて共有化を図り、3者にとって有益な事業を推進します。

希望を育むまちづくり

■ 不登校児童生徒学習サポート事業【新規】512 千円

不登校児童生徒に対し多様な学びの場を確保し、学習面での復学を補助するため、学校外でのICTを活用した学習プログラムを導入した学習サポートを実施します。

■ 探求学習サポート事業【新規】75 千円

児童生徒の調べ活動を充実化し、リテラシー等の能力育成を図るため、新聞WEBコンテンツ（記事データベース）を導入します。

■ 沼田学園「特色ある学び」の推進と国際社会の人材育成事業【新規】7,076 千円

沼田学園の「特色ある学び」のひとつである英会話教育を強化するため、外国語指導の専門職員を採用し、小中学校での英会話教育を実施するほか、社会教育や国際交流の分野と連携した英語教育を推進します。また、児童生徒の読書習慣の定着、読解力・語彙力向上の取組を強化するため、小中学校に図書館システムを導入します。

■ 台湾瑞穂郷国際交流事業【新規】2,000 千円

令和6年6月に台湾瑞穂郷と締結した友好交流協定に基づき、双方が共に日台青少年交流を促進して次世代の相互理解を深め、お互いのお祭りや文化などの伝統芸能を見習い、交流を進めることで地域の国際化を推進し、友好関係を強化しながら日本と台湾の繁栄と発展にも寄与することを目的として、交流事業を実施します。

■ 沼田学園児童生徒用タブレット端末共同調達事業【新規】16,600 千円

国が進めるGIGAスクール構想を受け、令和2年度から児童生徒用の学習用タブレット端末を導入し、ICTによる学びを進めています。タブレット端末導入より5年が経過し、端末更新の時期が迫っていることから、よりよい学びの環境確保のため、沼田学園の児童生徒のタブレットを更新します。

■ 沼田学園教職員用PC端末更新事業 【新規】9,588千円

国が進めるGIGAスクール構想を受け、ゼロトラスト環境の構築（セキュリティ対策の向上）が必要となることから、教職員用PC端末を多要素認証機能等を保有するものへと更新します。

■ 「セカンドブック」「サードブック」事業【新規】140千円

本に触れあう機会を定期的に提供し親しみをもってもらい、読書習慣へつながるきっかけを作ります。

《事業概要》

・3年間隔で3歳時及び小学1年生に1人一冊本の提供をします。

■ 「ソクラテスミーティング in 沼田」【新規】395千円

キャリア教育支援として沼田町の子どもたちに地元企業を知ってもらい、沼田町をもっと好きになってもらい、将来の進路を考える上で参考にしてもらうため、中学生が町外に進学する前に、地元企業とそこで働いている大人の思いを知ってもらう少人数・対話型の講話会を実施します。

安心・安全に暮らせるまちづくり

■ 交通事故死ゼロ5000日達成事業 【新規】113千円

令和8年3月17日に交通事故死ゼロ5000日を迎えることから、達成に向けた啓蒙活動と記念懸垂幕の作成をします。

■ 沼田消防第2分団ポンプ車更新事業 【新規】39,400千円

平成13年にポンプ車を配備して23年が経過しており、経年劣化により車両の更新をします。

■ 防災行政無線設備更新事業【新規】94,600千円

平成24年の導入より12年が経過し、設備の老朽化及び保守期限が切れることから、防災無線に使用する機器の更新を行います。

町民とともに作るまちづくり

■ 第7次沼田町総合計画策定支援業務【新規】3,047千円

令和8年度に策定する次期総合計画（R9～R16）に向けたアンケート調査を実施します。

その他

■ 旧ふるさと資料館解体事業【新規】120,000千円

旧ふるさと資料館に設置していた展示資料の文化財収蔵センターへの移行が完了し、施設全体の老朽化が進んでいることから解体撤去を行います。

沼田町 BEER KITCHEN が トナリエ北広島にオープン！！



北広島市に開業した複合商業施設「トナリエ北広島」内の2階に「沼田町 BEER KITCHEN」が3月15日(土)オープンしました。

店舗では、沼田町のクラフトビールで「夜高あんどん祭り」をイメージした「あんどんRED」や「ヌマタノビール」、濃厚なトマトを活かしたトマトカレーなど、「ここ」でしか味わえないお酒や料理が提供されています。

また、店舗の目の前には、大型ビジョンが設置されており、日本ハムファイターズの試合中継などを見ながら飲食を楽しむことができます。

普段は、月曜日が定休日ですが、当面の間は、休まず営業しておりますので、是非ご来店ください。

左ページに、店舗の内装や提供されている料理などを掲載していますので、ご覧ください。



▲オープン当日、たくさんの方にご来店いただきました



▲オープンセレモニーでのテープカット



▲カウンター席、テーブル席がございますので、お一人でも複数人でも楽しむことができます。



▲沼田のトマトカレー



▲特製ソースのポークチャップ定食



▲特製ラム餃子



▲沼田町のクラフトビール

トマトケチャップやトマトジュース、クラフトビールなど、沼田町の特産品をたくさんの方に知っていただけるよう、沼田町の食材を使ったメニューを提供しております。

特にクラフトビールは、沼田町のトマトジュースと割って飲む「レッドアイ」やレモン果汁を入

れたレモンビアが大変好評いただいております、幅広い年代の方にお飲みただいております。

店舗では、テイクアウトが可能ですので、満席の場合は、施設内の共有席で召し上がることができます。



Instagram で、店舗の様子などが紹介されています。

【メニュー】

- ・沼田のトマトカレー 1,100 円
- ・特製ソースのポークチャップ定食 1,200 円
- ・ジンギスカン定食 1,100 円
- ・特製ラム餃子 700 円
- ・沼田町ビール(M:660 円 L:1,000 円)
- ヌマタノビール
- あんどん RED 灯
- ・NUMATA signature ビール(M:880 円 L:1,400 円)
- 雪中
- 沼田ブラック
- Numata nova

ほかにも絶品メニューを取り揃えております！

店舗情報

沼田町 BEER KITCHEN
 住 所 北広島市栄町 1 丁目 52 番
 トナリエ北広島 2 F
 営業時間 10 時～22 時
 (ラストオーダー 21 時 30 分)
 定休日 月曜日 (当面は無休)
 電話番号 011-375-7761

ISHIKARI NUMATA BREWERY

公設民営「石狩沼田ブルワリー」が醸造開始



▲「石狩沼田ブルワリー」の内装

【工場概要】

運営

LASTLAND 合同会社（指定管理）

年間醸造量

1.2kl～1.4kl 規模

建築面積 73.9㎡

工期 5月31日～11月15日

工事費

建築主体工事 37,345,000円

電気設備工事 4,202,000円

機械設備工事 8,910,000円

全国初となる公設民営クラフトビール醸造所「石狩沼田ブルワリー」が4月15日（火）から醸造を開始しました。

当工場は、新たな特産品としてクラフトビールを製造・販売し、「関係人口」「交流人口」の拡大により地域経済の活性化を図ることを目的に建設され、地域おこし協力隊としてクラフトビールの製造等の活動を行っていた村上信吾さんが代表を務めるLASTLAND合同会社が指定管理者として、運営を担っていただきます。

また製造されたクラフトビールの売上の一部は、沼田町に住む子ども達のために活用させていただきます。



▲醸造開始セレモニーに沼田小中学校から林ゆずなさん（中3）、大江龍櫻さん（小6）が参加されました

稼働開始に伴い、見学会を開催しました！

道内初となる公設民営ブルワリーの稼働開始に伴い、醸造施設の見学会が3月27日（木）に開催されました。

実際にクラフトビールが作られている過程を間近で見ることができ、訪れた方々は製造工程に関する詳しい説明を真剣に聞いていました。

クラフトビール開発を主導した地域おこし協力隊員の村上信吾さんは、「皆さんに愛され、長く飲まれていく味を目指して頑張りたい」と力強く話されました。



3

沼田中学校から巣立ちます

12

沼田中学校第57回卒業証書授与式

沼田学園沼田中学校（里館幹彦校長）の第57回卒業証書授与式が、3月12日（水）に沼田中学校で執り行われました。

順番に名前が呼ばれると、卒業生一人一人に卒業証書が渡され、生徒の大きくなった姿に保護者らはカメラ片手に今までの成長を思い起こしていました。

里館校長から卒業生に向けて「皆さんは、家族、先生、地域の方、関わってきた方々の希望の種です。

命を大切し、目標とする夢に向かってこれからも頑張ってください」と話され、最後に卒業生を代表して齋藤留可さんから「3年間培ってきたものを大切にし、周りの方々に対する感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張っていきます」と挨拶をされました。



3

いじめやネットトラブルの根絶を目指して

13

「絆づくりメッセージコンクール」表彰状伝達

青少年からいじめやネットトラブルの根絶を目指し、よりよい人間関係づくりを呼びかける「絆づくりメッセージコンクール」の表彰が3月13日（木）に沼田中学校（里館幹彦校長）で行われました。

思いやりをもって人と接する社会の実現に向けた意識の向上を図ることを目的として実施され、ポスター部門で全道優秀賞に輝いた沼田中学校1年生の野田笑美菜さんに表彰状が手渡されました。

野田さんは「このコンクールがきっかけで、いじめのない世の中になることを願っています」と話されました。



3

夢と希望を膨らませて

19

沼田小学校第115回卒業証書授与式

沼田学園沼田小学校（吉田純一校長）第115回卒業証書授与式が、3月19日（水）執り行われました。

保護者や在校生が見守る中、卒業生15名は一人ひとり壇上で家族や先生への感謝の気持ちと中学校に向けた決意を話した後、卒業証書を受け取り、家族に宛てて書いた手紙を手渡しました。

吉田校長は「皆さん6年間よく頑張りました。今日は人生において最初の大きな節目です。家族や周りの方々に感謝を伝えるとともに、中学生になっても仲間を大切に頑張ってください」と式辞を述べられました。



3

身近な困りごとから金融について考える

21

中学2年生金融教育授業

北空知信用金庫（池内英二理事長）主催の金融教育授業が3月21日（金）沼田中学校2年生（里館幹彦校長）を対象として行われました。

授業では、身近な困り事からイノベーションを起こすためのグループワークを行い、3つの班それぞれが「雪」についての困り事を取り上げました。同じ雪という題材から、電車の運休、日常の除雪、世界の飲料水や食料確保の問題という多彩な課題が生まれ、それらを解決するための提案を行いました。

提案後は1人2票の「投資」を行い、応援したいプロジェクトにお金を集めるという金融の形を学びました。



3

グラウンドの雪割りボランティア

21

渡部建設雪割ボランティア

渡部建設株式会社（渡部克裕代表取締役社長）は、毎年、地域貢献活動の一環として、小中学校グラウンドの雪割ボランティアを行って来ています。

今年は3月21日（金）に、重機2台を投入して作業していただきました。重機が力強く雪を運び出す様子は、子どもたちにとっても迫力満点で、普段目にする事のない重機の活躍に、子どもたちは目を輝かせ、歓声を上げていました。



3

各市町の行政相談委員が意見交換

21

北空知行政相談委員協議会「自主宿泊研修会」

令和6年度北空知地区行政相談員自主研修会が3月21日（金）ほろしん温泉ほたる館で開催されました。

近隣市町の行政相談委員や総務省北海道管区行政評価局の職員など13名が参加され、行政評価局から改正道路交通法と行政相談について説明があった後、各市町の行政相談に関する意見交換会が行われたほか、各市町で起きている問題を共有しました。



3

喜びが溢れる、沼田町の春一番遅いイベント！

22

春の雪祭り2025

沼田町商工会（吉住淳男会長）が主催する「春の雪祭り」が3月22日（土）に開催されました。

会場では、甘酒、コーンスープなど、あたたかい飲み物の無料提供、ピザサンドやスパイシートマトカレーなどが数量限定の100円で販売されたほか、子どもお宝まきやN-linkによるスポーツレク、大滑り台が開放され、会場に来られた方々は「食べて！飲んで！遊んで！」を思う存分楽しんでいました。

イベントの最後には、ゲーム機などの豪華景品が当たる子どもビンゴ大会が行われ、来場者が笑顔で喜び溢れる素敵な祭りとなりました。



3

元五輪代表選手が熱血指導

23

開拓130年記念事業 平野早矢香さん卓球教室

沼田町開拓130年記念事業として、NHKスポーツワンデー「卓球教室」が3月23日（日）町民体育館で開催されました。

ロンドン五輪団体会で銀メダルを獲得した元卓球日本代表の平野早矢香さんをお招きした卓球教室は、町内外の小中学校の卓球部員や未経験者の子ども達が参加し、トップアスリートの指導を直接受ける貴重な機会となりました。

平野さんは、世界レベルの技術と熱意で、経験者から初心者まで一人一人のレベルに合わせて丁寧に指導され、参加者は平野さんの言葉に真剣に耳を傾け、夢中になってラケットを振っていました。



3

昨日の自分より一歩前へ

23

開拓130年記念事業 平野早矢香さん講演会

沼田町開拓130年記念事業として、ロンドン五輪団体会で銀メダルを獲得した元卓球日本代表の平野早矢香さんを講師に招いた講演会が3月23日（日）町民会館で開催されました。

講演会は「昨日の自分より一歩前へ～卓球から学んだ挑戦することの大切さ～」をテーマに自身の卓球人生を振り返りながら、世界を目指す中で味わった挫折や、苦悩を乗り越えるために実践したことなどを自身の経験を通して話され、町内外から集まった約130名の参加者は熱心に耳を傾けていました。



3

全国の舞台で力を発揮

28

パワーリフティング選手権大会出場報告

3月23日（日）に埼玉県で開催された「第22回全日本選抜高等学校パワーリフティング選手権大会」に出場した馬狩柊斗選手（深川西高校2年）が59kg級で優勝し、優秀選手賞を受賞されました。また松尾泰希選手（旭川南高校2年生）が53kg級で4位入賞と各階級で輝かしい成績を収めました。

馬狩選手は、「同世代の中で優勝、優秀選手賞を受賞することができて良かったです」と話し、松尾選手は「万全の状態ではなかったですが、楽しく試技することができ、4位に入賞することができて良かったです」と手ごたえを感じていました。



4

伊藤さんが全国大会で力走

2

ジュニアオリンピックカップ2025に出場

沼田小学校（吉田純一校長）6年生の伊藤千咲さん（市内2）が3月22日（土）から26日（水）長野県で開催されたジュニアオリンピックカップ2025全日本ジュニアスキー選手権大会に出場されました。

大回転と回転の2種目に挑み、惜しくも入賞は逃したものの、全国の強豪を相手に日頃の練習の成果を発揮しました。

伊藤さんは「ジュニアオリンピックカップ2025に出場して、貴重な経験することができて良かったです」と話され、横山町長は「来年は、ぜひ優勝していただき、将来はオリンピックを目指してこれからも頑張ってください」と激励されました。



4

子ども達の通学を見守る

4

夜高パトロール隊出動式

夜高パトロール隊（石田隆広総隊長）の出動式が、4月4日（金）ゆめっくる駐車場で行われました。

石田総隊長は、隊員の方々に「町民の安心、安全を守りながら、自身の安全に気を付けながら取り組んで行きましょう」と挨拶されました。

また、深川警察署沼田警察庁舎の大島誠司所長は「日頃から交通安全、防犯への協力ありがとうございます。交通事故死ゼロ5000日達成に向けて今年度が重要となってきますので、引き続きよろしくをお願いします」と隊員を激励しました。



4

子どもたちの学びを応援

4

役場主婦の会文房具寄贈

役場主婦の会（横山美紀子会長）役員が4月4日（金）に沼田小学校（吉田純一校長）を訪れ、春から沼田小学校に通う児童へ文房具を寄贈しました。

寄贈された文房具については、役場主婦が地域貢献活動の一環として長年行っているものであり、文房具を受け取った吉田校長は「ありがとうございます。子ども達に届けて、学習に活用させていただきます」と話しました。



4

デイサービスセンターの利用者から

4

小学校に雑巾を寄贈していただきました

デイサービスセンターの利用者から、4月4日（金）沼田小学校（吉田純一校長）へ雑巾が寄贈されました。

児童たちの学校生活に役立ててほしいと雑巾を寄贈され、利用者を代表して須網洋子さんと谷水ヒデコさんが小学校を訪れ、吉田校長に雑巾を手渡し、吉田校長は「ありがとうございます。大切に使用させていただきます」と感謝を伝えました。



4

交通事故死ゼロ5000日に向けて

7

交通安全祈願祭

沼田町交通安全協会（西尾昌浩会長）が、4月7日（月）沼田神社で交通安全祈願祭を執り行いました。

祈願祭に参列された全員が交通安全のタスキをかけて交通安全と悲惨な交通事故の根絶を祈願され、西尾会長は「日頃から皆様の交通安全・防犯へのご尽力に感謝いたします。来年3月には、交通事故死ゼロ5000日を迎えますので、引き続き事故が起こらない様、ご協力よろしくをお願いします。」と挨拶されました。



4

沼田小に新たな笑顔

7

沼田小学校入学式

沼田学園沼田小学校（吉田純一校長）入学式が4月7日（月）に行われ、20名の児童が保護者や在校生が見守るなか、6年生と手をつなぎ元気いっばいの笑顔で入場しました。

吉田校長は「困ったことや分からないことがあれば、2年生から6年生のお兄さん、お姉さんが優しく教えてくれるので、安心して楽しい学校生活を送ってください」と挨拶されました。



4

犯罪や交通事故に気を付けて

7

防犯協会沼田支部が文房具を寄贈

沼田町防犯協会沼田支部（石田隆広支部長）が、4月8日（月）に行われた沼田小学校入学式後に新1年生20名へ鉛筆、消しゴム、自由帳、下敷きをプレゼントしました。

プレゼントした文房具には、事件・事故に巻き込まれないための防犯標語である「いかのおすし」や交通ルールがイラスト付きで分かりやすく記載されており、石田支部長は「私達は、皆さんが犯罪や交通事故に巻き込まれないように交差点などで見守っています。会った時には、元気な挨拶をお願いします」と述べられました。



4

新たな希望を胸に

7

沼田中学校入学式

沼田学園沼田中学校（吉田久校長）入学式が4月8日（月）に行われ、新入学生15名は制服に身をまとい、保護者や上級生に見守られながら会場へ入場しました。

新入生を代表して多田京志郎^{ただきょうしろう}さんは「良き先輩を見習いながら、沼中生としての自覚と責任を持ち、一生懸命最後までやり抜きます」と思いを話されました。続いて、在校生を代表して生徒会長の林ゆずなさんは「3年間という短い期間を充実させるためには自分から行動しないとイケません。その中で不安な時は、私たちや先生を頼ってください」と歓迎の言葉を述べられました。



ふるさと創造懇談会

ふるさと創造懇談会を3月19日（水）、20日（木）の2日間、町内2カ所で開催いたしました。

今回の広報では、当日お受けしました質問を中心に内容を掲載させていただきます。なお更に詳しい説明を聞きたい方は役場総務財政課までお問合せいただけますと、担当者にお繋ぎいたしますので、お気軽にお問合せください。



■まちづくりハンドブックについて

農業、産業、子育てなど項目別に事業内容を記載しております。また、担当部署も電話番号と併せて掲載しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

■公共交通について

令和8年3月末にJR留萌線（沼田・深川間）が廃止となることから、JR北海道から廃線後の代替交通として、平日19便、土休日13便の提案がされています。運行につきましては、現在運行している「空知中央バス」に加え、「道北バス」、「明日萌観光バス」に運行していただくことで協議を進めています。時間や停車するバス停などについては、詳細を詰めているところですので、改めて、お知らせさせていただきます。

また、廃線後の鉄道遺産の活用等についても引き続き、皆さまのご意見をお聞きしておりますので、役場産業創出課までお問い合わせください。

■トナリ工北広島への出店等について

北広島市にオープンした「トナリ工北広島」に「沼田町BEER KITCHEN」を開設しました。ここでは、沼田町のクラフトビール、トマトジュースなどの特産品の販売やトマトケチャップなどを使用した料理などを提供しています。

また、石狩沼田駅の横に建設しましたクラフトビール醸造所が4月から稼働する予定です。全国初の「公設民営」での運営ということで、「地域おこし協力隊」として活動していただいていた方が立ち上げた「LASTLAND合同会社」という会社が管理運営を行ないます。町内外での販路拡大を行ないながら、ふるさと納税返礼品としても取扱うことを考えています。

■合同墓・葬祭場等利用料助成について

近年、少子化などの影響により墓じまいをする方が増えていることから、旧沼田火葬場を解体し、建設していた合同墓が完成し、5月から供用開始します。

利用期間は、5月1日から10月

31日の休日の10時から14時とさせていただきます、利用料は1体2万円とさせていただきます。

合同墓には、様々な宗教の方がお眠りいただけますので、献花などは、お帰りになる際にお持ち帰りいただくこととしています。

1市4町で建設していた北空知葬祭場が4月1日から供用が始まります。火葬料は2万7千円となっておりませんが、その内、町で1万円補助させていただきます。

■ふるさと資料の現状と展望について

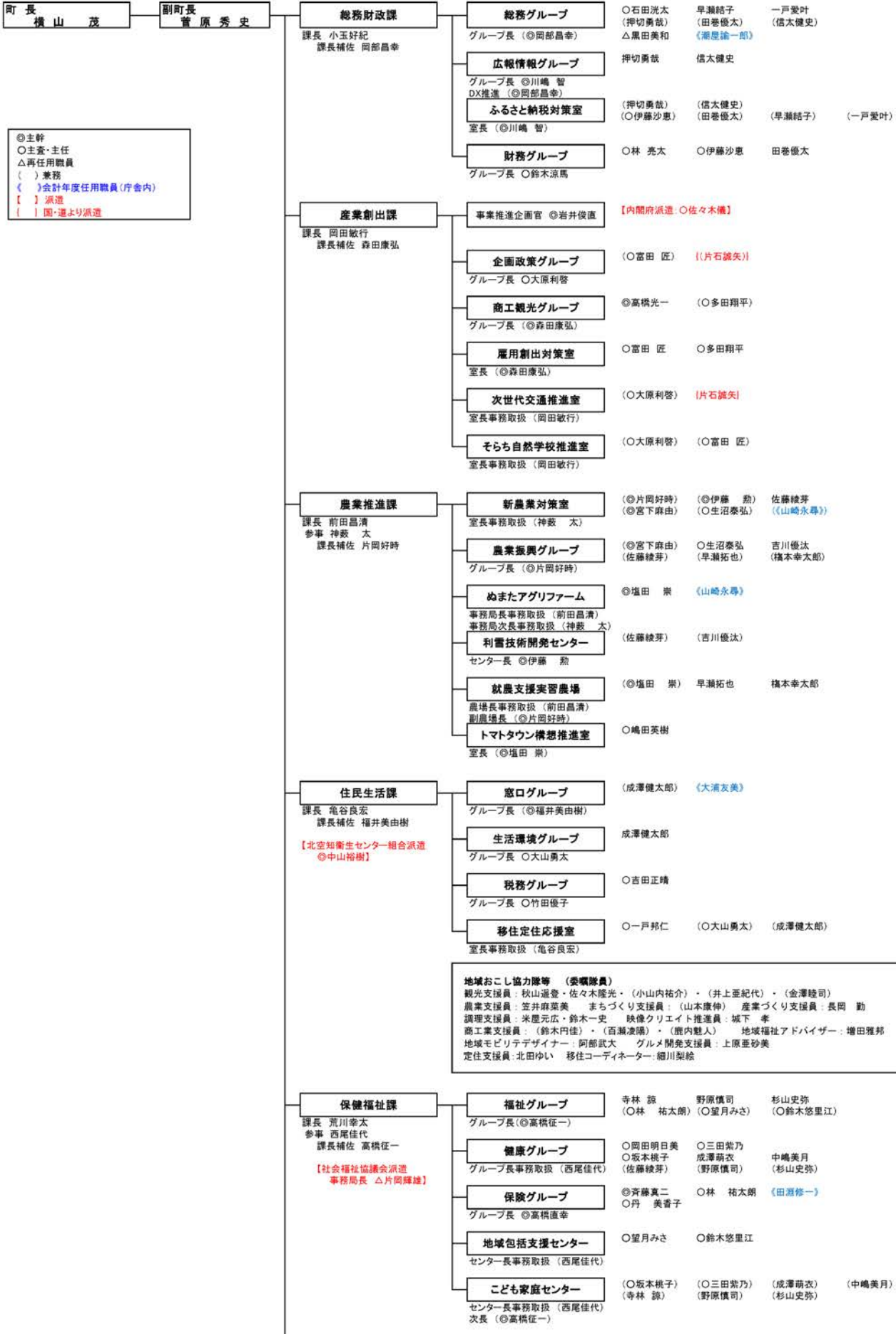
旧「ふるさと資料館」は、建設から40年以上が経過し、老朽化に伴い、令和7年度に取り壊します。展示していた資料については、「文化財収蔵センター」など3カ所の施設で展示しています。

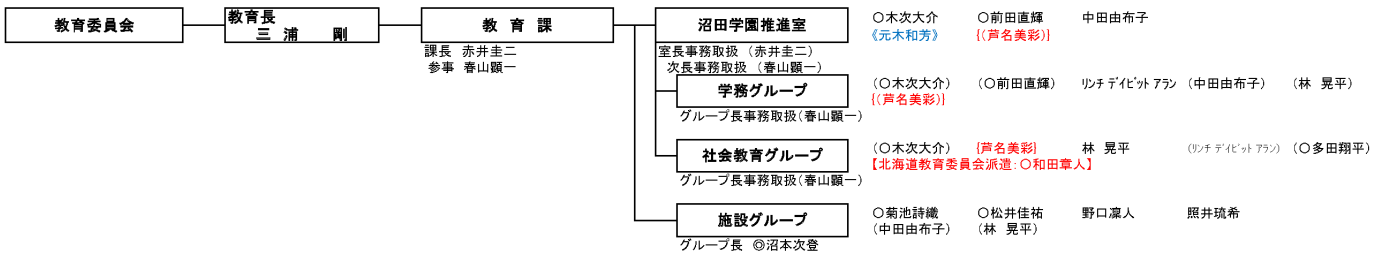
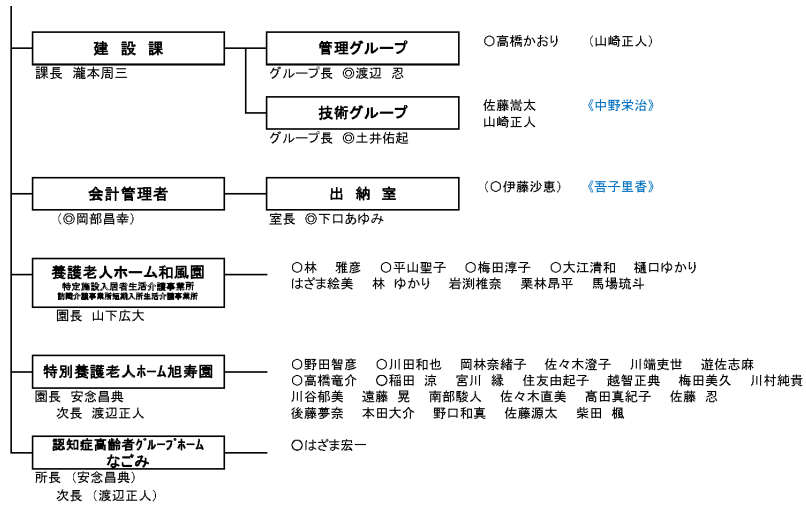
この資料は積極的に公開し、皆さまに見ていただく機会を設けています。

今後は、更に資料を残していくために、「平成」や「令和」の資料を保管して行きたいと考えています。またこれらの資料収集、保存、活用するにあたり、地域住民の方と一緒に活動していきたいと思っておりますので、皆さまのご協力よろしく願います。

沼田町機構図

令和7年4月1日現在





水道事業 (課長 瀧本周三) ◎渡辺 忍 (◎土井佑起) (○高橋かおり) 《伊藤由佳子》

沼田町議会 議長 小 峯 隆 事務局長 按田義輝 高橋愁人

沼田町農業委員会 会長 中村 宗 寛 事務局長 (神 越 太) ◎宮下麻由 《青木知香》

沼田町監査委員 代監 高田 勲 書記長 (按田義輝) (高橋愁人)

沼田町選挙管理委員会 委員長 生沼 篤 司 書記長 (小玉好紀) (◎岡部昌幸) (○石田洗太) (早瀬結子) (一戸愛叶)
(押切勇哉) (信太健史) (田巻優太)

沼田町公平委員会 委員長 田島 博 幸 (小玉好紀) (◎岡部昌幸) (○石田洗太)

深川地区消防組合 事務次長 (小玉好紀) 支署長 中村英司 副支署長 河原康利 ○長谷川祐一 ○横山 諭 ○戸松大輔 ○松橋 佑 ○大町研太 ○山根直峰
沼田支署 ○丸山圭太 岩田教嗣 塚田 拳 森 皓軌 佐藤征也 大野海人

※拡大した機構図をお求めの方は、総務財政課までお問合せください。

新規採用職員の紹介

4月から沼田町役場で勤務している、8名の職員を紹介します。

いちのへ
一戸 まなと
愛叶

所属：総務財政課
出身地：妹背牛町
趣味：野球
抱負：笑顔で一生懸命頑張ります！



しだ
信太 たけし
健史

所属：総務財政課
出身地：江別市
趣味：PCゲーム
抱負：沼田町の良いところを見つけ、貢献できるように頑張ります！



なかじま
中嶋 みつき
美月

所属：保健福祉課
出身地：愛別町
趣味：旅行、お菓子作り
抱負：町民の皆さんのために精一杯頑張ります。よろしくお願いします！



のぐち
野口 りんと
凜人

所属：教育委員会
出身地：富山県朝日町
趣味：化石採集、サッカー観戦
抱負：化石体験館から学ぶ楽しさを発信していきたいです！



ばば
馬場 りゅうと
琉斗

所属：和風園
出身地：滝川市
趣味：映画鑑賞、洋服、バスケ
抱負：地域に貢献して、より多くの高齢者の方を支えていきます！



やまざき
山崎 まさと
正人

所属：建設課
出身地：深川市
趣味：カラオケ
抱負：これまでの経験を活かし、頑張ります！



よしかわ
吉川 ゆうた
優汰

所属：農業推進課
出身地：沼田町
趣味：温泉巡り
抱負：笑顔で精一杯頑張ります！



リンチ デイビット アラン

所属：教育委員会
出身地：アイルランド
趣味：読書、ランニング、木工
抱負：英語の魅力を広め、アイルランドに来ていただけるよう頑張ります！



ゼロカーボン推進のため、GX推進員を委嘱しました

沼田町では令和3年9月に「ゼロカーボンシティ宣言」を行ない、2050年までに二酸化炭素実質ゼロを目指す取り組みを進めておりますが、この度、総務省の地域活性化企業人制度を活用して株式会社メンバーズ（東京都中央区：高野明彦代表取締役）からGX（グリーントランスフォーメーション）推進員として、た多田凜平さん、ふじむらかいと藤村快都さんの2名が委嘱を受けました。

今後は、二酸化炭素実質ゼロを目指す取り組みや、脱炭素による地域の魅力や価値の向上など地域経済の活性化のために従事していただきます。



▲ GX推進員の藤村快都さん（中）と多田凜平さん（右）

4月1日着任の地域おこし協力隊を紹介！

しかない かいと 鹿内 魁人さん

札幌出身で歌、サウナが趣味の鹿内さんは、(株) alpha で商工業支援員として活動しています。

今後の沼田町の魅力を映像や写真を用いて効果的に発信し、沼田町の活性化に繋がるよう活動してまいります。



ますだ まさくに 増田 雅邦さん

旭川出身でサイクリングが趣味の増田さんは、保健福祉課で地域福祉アドバイザーとして活動しています。

今後、沼田町の福祉の発展と新たな福祉事業の展開などを通じ、沼田町で安心して暮らせる環境の充実により、町の福祉増進を図る活動をしてまいります。



やまもと やすのぶ 山本 康伸さん

札幌出身で野球が趣味の山本さんは、(株) まちづくりぬまたでまちづくり支援員として活動をしています。

今後、沼田町の観光事業や特産品開発・PRを通じて、沼田町の魅力アップに繋がるよう活動をしてまいります。



札幌国際大学と包括連携協定を締結しました

地域産業の発展や観光・文化の振興、更には次世代を担う人材の育成などを目的として、これまでも交流のあった札幌国際大学と3月27日(木)包括連携協定を結ぶ調印式が行われました。

調印式で蔵満保幸学長から「地域貢献は大学の役割の一つ。学生が地域に入り、そこで学び新たな視点を得ることは、大学教育の重要な要素です」と挨拶され、横山町長からは「創造的なアイデアの提供を期待するとともに、地域発展モデルの事例を是非構築していきたいです」と挨拶されました。





春はヒグマとの遭遇に注意！

1. ヒグマ出没情報を確認する。

自治体のホームページや新聞、テレビなどでヒグマの出没情報を確認しましょう。

2. 複数で行動する。

ヒグマから身を守るには熊撃退スプレーが有効なので、スプレーを持つようにしましょう。

3. ふんや足跡を見つけたら、すぐに引き返す。

畑の農作物や草木などが食いちぎられた跡などを見つけたときはすぐに引き返しましょう。

4. 食べものは必ず持ち帰る。

ヒグマは、いったん人間の食べものの味を覚えると、それを目当てにゴミ捨て場などに繰り返し出没します。山中に生ゴミを放置したり、埋めたりしないようにしましょう。

5. もしもヒグマと遭遇した場合

騒いだり、背中を見せて逃げたりせず、ゆっくりと静かに立ち去りましょう。



山菜採りは目先の収穫よりも安全第一

1. 行き先や帰宅予定時間を家族等に伝える。

行き先が分からないと、遭難したときに搜索範囲を絞れず、救助活動に時間がかかります。

2. 山奥に入らない。

慣れた山でも油断せず、自分の体力や体調、天候や日没時間に合わせた行動をしましょう。

3. 単独入山を避ける。

万が一、山中で迷ったり、けがをした場合、一人では対処できないことがあるので、複数で行動しましょう。

4. 目立つ色の服装を着用する。

万一の遭難でヘリコプターが上空から搜索する場合、赤色や白色系の服装が目立ちます。

5. 携帯電話やホイッスルを携帯する。

携帯電話は、非常時に救助要請することができます。ホイッスルは周囲に自分の存在を知らせることができます。



犯罪の発生状況 (令和7年2月末現在)

町内における犯罪件数

	侵入盗	非侵入盗	粗暴犯	わいせつ犯	その他	合計
令和7年	1	0	0	0	0	1
令和6年	0	0	0	0	0	0

交通事故の発生状況 (令和7年2月末現在)

町内における交通事故件数

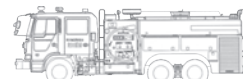
人身事故		物損事故	
令和7年	0	令和7年	6
令和6年	0	令和6年	7

詐欺電話が来たら、「#9110」まで、ご相談ください。



消 報

深川地区消防組合深川消防署
沼田支署予防担当 ☎ 35-2050



新入団員を紹介します！！

4月1日付で沼田消防団 小西団長より新入団員に辞令が交付されました。辞令を受け取った団員は今後、火災予防や訓練に励み、沼田町の安心安全を守る役割を担っていきます。



- 第2分団** 団員 阿部 巧
 団員 齊藤 健太
 団員 畑地 建
- 第3分団** 団員 石田 充朗
 団員 畠山 勇太



▼消防団員募集中▼

沼田の街を守るためにも
皆さんの力が必要です！

消防団の主な活動

- ： -災害時-
- ： 火事が起こった際に現場に駆け付け、消
- ：防職員と協力し消火活動を行ったり、台風
- ：や大雨などで増水した河川の警戒活動や町
- ：民の避難誘導を行います。
- ： -平常時-
- ： 災害対応のための訓練や、消防演習や出
- ：初式等の各種行事、毎月10日には火災予
- ：防を目的に夜間の車両巡回を行います。



林野火災想定訓練



消防演習



出初式

※消防団員に興味のある方は沼田消防（☎ 35-2050）に連絡してください！

林野火災に注意！

先般、岩手県大船渡市及び陸前高田市で大規模な林野火災が発生し、住宅を含む多くの建物が被害を受け、避難者も発生するなど甚大な被害を受けました。沼田町においても、過去に林野火災となった事例があります。

林野火災の原因のほとんどは、タバコやたき火など人の不注意によるものです。さらに林野火災は消火活動が困難で延焼が速く、火災により失われた山林は再生まで長い歳月がかかります。

住民一人一人が火の取扱いに注意することで林野火災を未然に防ぎましょう！



林野火災予防の注意点

- 雪解け後は、より空気が乾燥します。乾燥時及び強風時、屋外では火気の使用をしないこと。
- タバコの投げ捨てはしないこと。
- やむを得ず火気を使用する場合は、消火の準備をし、細心の注意を払うこと。

沼田町
防火標語

住宅用火災警報器は10年を目安に点検・交換しましょう。

『火の用心 「後で」と「今」で 変わる未来』



～ 私達の健康は私達の手で ～
「 伸ばそう健康寿命 つなごう郷土の食 」
沼田町食生活改善協議会

沼田町食生活改善協議会は、「減塩につとめましょう」「一日350グラムの野菜を食べましょう」「地産地消」を活動の基本とし、子育て世代から中学生、働き盛り、高齢者等、幅広い年代の方々との調理実習をとおして、食生活にかかわる活動に取り組んでいる自主的な組織です。昭和58（1983）年に発足し、40年以上の歴史があります。

夏のSNOWマラニックや町民交流フェスタで、ローズピンクのTシャツを身に着け、生き生きと活動する会員を見かけたと思いますが、和気あいあいと語り合って学ぶことが、会員自身の元気の源になっています。

町民の皆さまの健康を守る大切な活動を継続するため、健康維持や食育に関心をお持ちの方、料理の幅を広げたい方等、一緒に活動しましょう。会員募集中です。

（現会員16名、年会費1,000円、まずは見学を！）



▲親子食育教室



▲中学生食育教室



▲高齢者元気100倍！教室



▲町民交流フェスタ

◆お問合せ先 保健福祉課健康グループ ☎35-2120

令和7年度社会教育・体育振興事業 のご紹介

生涯
学習

ゆめ
つくる

沼田町教育委員会では町民の皆様の生涯学習推進や健康維持・スポーツの普及のために様々な事業を行っております。今回は今年度の事業予定を一挙にご紹介します。

※下記日程は現段階での予定ですので、変更する可能性があります。

【4月～6月】



5/ 1 (木) ～ おはようラジオ体操
5/17 (土) ～ 環境学習プログラム
5/22 (木) ～ いきいき大学
6/ 5 (木)
沼田町教育長杯争奪パークゴルフ大会
6/16 (月) ～ 子ども水泳教室

【7月～9月】



7/ 6 (日)
第52回町民スポーツまつり
7/ 9 (水)
沼田町長杯争奪パークゴルフ大会
7/25 (金) サマーデイキャンプ
7/30 (水) ～ 夏の宿泊キャンプ
9/ 5 (金)
NHK すずらん記念
「明日萌の里」ペアパークゴルフ大会

【10月～12月】



10/ 4 (土)
明日萌・ほたるの里ウォーキング
10/15 (水) ～ 沼田っ子の夢応援事業
10/25 (土) ～ 町民芸術祭 作品展示会
11/ 3 (月) 町民芸術祭 芸能発表会
11/ 9 (日) 町民交流フェスタ
12/23 (火) ウィンターデイキャンプ
12/26 (金) ～
北空知シニアリーダー研修会

【1月～3月】



1/ 7 (水) ～ 冬の宿泊キャンプ
1/11 (日) 20歳を祝う会
3/25 (水) ～
北空知ステップアップ研修会

【その他実施予定】



- ・生きがい講座 ・家庭教育講座
- ・生涯学習セミナー
(旧：芸術文化鑑賞事業)
- ・教育長杯小学生バレーボール大会
- ・教育長旗争奪少年野球大会

■「沼田町 Two-way 留学」のご紹介■

昨年度新たに始まった制度で、町ホームページに詳細が載っていますが、簡単にご説明すると、沼田町での多拠点就学制度のことです。つまり、沼田へ移住体験されるご家族のお子さんが、住民票を移さず2週間～3ヶ月間ほど沼田小や沼田中に通える制度です。ご興味のあるお知り合いやご親戚の方がいらっしゃれば、ぜひこの制度のことをお伝えください。

【令和6年度 あいさつ運動における標語コンクール 入賞作品】

「挨拶で 繋げていこう 元気の輪」

中学1年生(現中学2年生)の部 銅賞 うの 鵜野 はるせ 遥成さん

お問い合わせ…沼田町教育委員会教育課 ☎35-2132

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <https://blog.canpan.info/numakyoui/>



本を借りたいのに利用者カードを忘れてしまった、ということはありませんか。沼田町図書館では、利用者カードを忘れてしまっても口頭でお名前を申告していただければ借りることが可能です。もちろん、利用者カードを持参いただくのが一番良いのですが、うっかり忘れてしまっても名前でも借りることができるのがわかっているならば、ふらっと図書館に寄った時に家で読みたい本が見つかって焦ることはないと思います。もうひとつ利用者カードでお伝えするのは、利用者カードを紛失してしまった場合です。もし利用者カードを紛失してしまっても、カードを再交付することが可能です。



再交付の時は申込書に再度記入していただくこととなりますが、5分程度ですぐにつくることが可能です。なお利用者カードを再交付したあとで紛失カードが見つかった場合、古いカードはもう利用することができないので、図書館に持参いただくかご自宅で破棄をお願いしています。

利用者カードを忘れてしまった、紛失してしまっただなどがあればすぐに対応いたしますので、お気軽に図書館職員にお尋ねください。

新刊図書

《一般書》

ひとり旅日和 6	秋川 滝美
孤城春たり	澤田 瞳子
いつかの朔日	村木 嵐
十字路	五十嵐貴久
青い絵本	桜木 紫乃
私の最後の羊が死んだ	河崎 秋子
もっと知りたい蔦屋重三郎	田辺 昌子

《児童書》

せっけんアワー	かねこまき
へびのニョロリンさん	長谷川義史
このかべどうする？	二歩
月曜倶楽部へようこそ！	森埜こみち
きさらぎさんちは今日もお天気	古都こいと

新刊図書おすすめ!!



『おなじところ ちがうところ』

作 者：新井 洋行

絵：嶽 まいこ

出版社：株式会社くもん出版

わたしはとしきとサッカークラブでコンビだけど、委員会は別々。あかねちゃんとは委員会で一緒だけど、担当は違う。あかねちゃんとりょうちゃんは親友だけど、違うところは肌の色。

人と人とはそれぞれ同じところがあるし、それぞれ違うところもある。人と人のつながりや多様性を考えるきっかけになる絵本です。

家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できます。検索は、下記のURLかQRコードからどうぞ。

http://opac-numata.lib-wa.net/web_opac/simple_search.php



地域おこし協力隊 活動新聞

担当 映像クリエイト推進員 城下 孝
(住民生活課 移住定住応援室)
☎ 35-2115

こんにちは。ようやく春めいてきた陽の下で地域おこし協力隊も元気いっぱいです。今回は駅を拠点にする隊員とほろしん地区のそらち自然学校を運営する隊員をご紹介します。

まずは石狩沼田駅をベースに活躍中の阿部武大隊員。北海道を走る列車を見るのが子供の頃から大好きな生粋の鉄道ファンで旭川の出身です。

かつては新十津川での協力隊経験も。沼田町では駅を中心とした町おこしや商品の開発を一手に担っています。沼ルシェに行くと会えますよ



▲切符を売ったり待合所をきれいにした
り、冬イベントの準備をしたり！

地域モビリティ デザイナー

あべ たけひろ
阿部 武大 隊員 (30)

Q. 鉄道の魅力って何ですか？

四季（自然）を走り抜ける列車が非日常的でかっこいいです！

Q. 沼田町の第一印象は？

施設・店がコンパクトにまとまっている町。

Q. 休みの日は？

主に北海道内の鉄道に乗り、その土地のグルメを味わってます。

ひと言：来年3月末の廃線前に留萌線の「汽車」に乗りませんか？

次はほろしん温泉そばの『ほたる学習館』とその周辺の自然をフィールドにした“そらち自然学校”担当の金澤睦司（あつし）隊員です。

神奈川出身の金澤さんは留寿都の農業地域から北海道生活をスタート。長沼の『ハイジ牧場』の場長などを経て去年11月に着任しました。自然が大好きで“木育マイスター”の称号を持つ金澤さんは大人も子供も楽しめる“森作り”を目指しています



▲この日はこんにゃくの作り方の講習会を開催しました！

観光支援員

かなざわ あつし
金澤 睦司 隊員 (48)

Q. 沼田の自然の魅力は？

季節を感じる生命の多様性

Q. 自然学校で一番したいことは？

活かしあうつながりをいっちゃった皆さんに感じ取ってもらいたいです

Q. 趣味や続けていることは？

羊の毛刈りです！

ひと言：今期から、自然学校は『アナザースクール』を始めます！！

ほろしんのイタヤカエデからシロップが取れる季節になりました。春真っ盛り！

けんきいほい!
4月生まれの小学1年生



くりなか すい
栗中 粹くん (7歳)
将来の夢は、スノーボード選手になること

アプリやSNSで最新ニュースを発信中!

QR codes for: YouTube, Instagram, X, LINE, Facebook, ホームページ

広報ぬまたを
マチイロで簡単チェック!

QR codes for: IOS用, Android用

人の動き

(令和7年3月31日現在)

人口 2,746人 (前月比 △34人)
男性 1,323人 (前月比 △16人)
女性 1,423人 (前月比 △18人)
世帯数 1,418世帯(前月比△16世帯)

■総人口増減内訳

増加) 転入: 21人 出生: 0人
減少) 転出: 50人 死亡: 5人

交通事故死ゼロ

(令和7年3月31日現在)

4,649日継続中!!

移住定住情報公式サイト

沼田町の定住奨励制度
や暮らしの情報が満載
です。



ぬまわーくサポートデスク

沼田町では求職者と
求人者をつなぐため
に、無料職業紹介所
「ぬまわーくサポート
デスク」を開設して
います。



氏名	死亡月日	年齢	住所
千葉 山下 賢一さん (男)	3月31日	86歳	仲町東
せつ子さん (女)	4月9日	75歳	旭町西

おくやみ